

**名 称**：非住宅木造・木質化推進WG 第2回WG  
**日 時**：令和5年11月22日（月）午後1時半～4時半  
**会 場**：大館市北地区コミュニティセンター 別館 多目的室  
**参加人数**：20人（うち事務局5人）  
**要 旨**：主な内容は以下のとおり

## 1 開会

**2 新WGメンバー紹介** 新メンバー：ニツ井パネル(株)、(株)タクミ電気工業

**3 前回（第1回WG）の振り返り** 説明者：大館市産業部林政課、環デザイン舎

## 4 事例紹介

テーマ：「自治体職員の視点からの木造化とコントロール」

講 師：埼玉県杉戸町建築課 主幹 渡辺 景己（わたなべ かげき）氏

- ・杉戸町における木造公共施設9施設の事例を挙げ、完成までのポイントを紹介
- ・コストを抑える為の秘訣として、節へのこだわりを無くし、無垢材・集成材・LVLなどを適材適所に活用すること

**5 意見交換** 進行：環デザイン舎 代表 北瀬 幹哉 氏

- ・秋田県でも住宅に関する技術アドバイザーの派遣制度があり、資格取得されている方もたくさんいるが、活用されているのを見たことがない
- ・市の職員や仲間内でも「木造化にしないといけないよな」といった話があり、地域の材を使っていきたい気持ちはあるが、鹿角の木のほとんどが地域外に出てしまっている
- ・この地域には製材や大断面集成材工場があり、「ウッドマイレージ」といったコストの削減ができていく地域だと思った

## 6 講評

講評：(株)アルセッド建築研究所（東京都渋谷区）代表取締役 副所長 大倉 靖彦 氏

- ・地域活性化のため、木造建築をやりましょうという機運を高めていく必要がある
- ・材を地元の山から下し、板材にして集成材として地元で回せるというのはこの地域の強み。歩留まりのいい、効率のいい集成材をどう作るか、山、製材、集成材のプレイヤーが一緒になって考えると、山にお金が戻る可能性が高くなる。

## 7 閉会

## 写 真：



写真1 事例発表の様子



写真2 意見交換の様子